

Harmony

調布市立
上ノ原小学校
6年生
令和3年12月10日

365×14回分のありがとう

学校公開での道徳の授業は、「365×14回分のありがとう」という実話に基づいた資料を通して、いつも身近すぎて感じる事が難しい家族への感謝の気持ちや、自分の命が家族にとっても自分にとってもかけがえのないものであるということについて考えました。思春期にさしかかったこの時期だからこそ、改めて気付いてほしいテーマであると考えました。この授業を行うにあたっては、保護者の皆様にご協力いただきましてありがとうございました。心ものこもった家族からの手紙に感極まって涙を流している子もいました。授業の感想をいくつか紹介します。



子供たちの学習感想より

- 「365×14回分のありがとう」を読んで命を大切にして感謝を忘れないようにしようと思った。自分は「365×12回分のありがとう」を言おうと思った。
- 生まれてきて本当によかったと思います。ここまで成長できたのは家族がいたから。手紙から勇気をもらいました。
- 手紙を読んで、たくさん悩んで育ててくれたことが分かり、自分だけの命ではないんだと改めて思いました。
- 口に出して言えないかもしれないけど「ありがとう」と思いました。
- 心が温まり心が掃除される授業でした。「こちらこそありがとう」と言いたいです。
- 自分では短所だと思っていた一面を家族は長所として受け入れてくれていたことに心を動かされました。
- 私は自分で思っていたよりもずっと家族に大切にされていたんだなあと思いました。
- この授業がなければ家族の愛情について深く考えることはなかったと思います。「今」を大切に生きていこうと思いました。